

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これには、リスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

経営健全化計画の概況

経営健全化計画（'00/3/29発表）の概要

ダイカスト・印刷機器事業などへ経営資源を
可能な限り集中し、高収益体質を構築する。

事業の見直し

- ・北米電動工具事業の売却
- ・北米以外の電動工具事業の見直し
- ・釣具事業の見直し

資産売却

- ・北米園芸用機器事業の売却
- ・東京本社土地・建物の売却
- ・有価証券の売却

2004/3期迄の計画（数値目標）

事業別の具体的な施策

ダイカスト事業

- ・世界トップクラスの専門メーカーとして日米欧3極での生産体制を確立
- ・電機・通信など自動車以外の分野へ積極的な拡販
- ・軽量化、リサイクルなど環境保全への積極的な取り組み

印刷機器事業

- ・新商品の開発力、生産力、販売力の強化
- ・IT化、デジタル化への対応
- ・小型印刷機から中型印刷機への事業分野の拡大
- ・プリプレスからプレスまでを提供するトータルプリンティングシステムの充実

住建機器事業（電動工具、園芸用機器、建築用品）

- ・不採算な分野については譲渡も含めての抜本的な見直し
- ・グループ会社の管理の強化、組織のスリム化等による固定費の圧縮
- ・中国の製造子会社への生産移管を加速し、コスト競争力のある生産体制の構築

経営健全化計画の実施内容

北米電動工具事業を'00/8に営業譲渡

北米園芸用機器事業を'00/6に営業譲渡

北米以外の電動工具事業の見直し

'01/3 国内電動工具販売子会社支援のため、増資及び債権放棄

'01/8 欧州 2電動工具販売子会社 (イギリス・フランス)を株式譲渡

'02/3 オセアニア 2電動工具販売子会社 (オーストラリア・ニュージーランド)を株式譲渡

釣具事業を'00/9に営業譲渡

スポーツ用品の製造・販売を'02/5末で終結

事務機器等の国内製造子会社を'04/3に解散

'00/3期 ~ '04/3期 資産売却

東京本社 (23億円) 、遊休不動産等 (8億円) 、

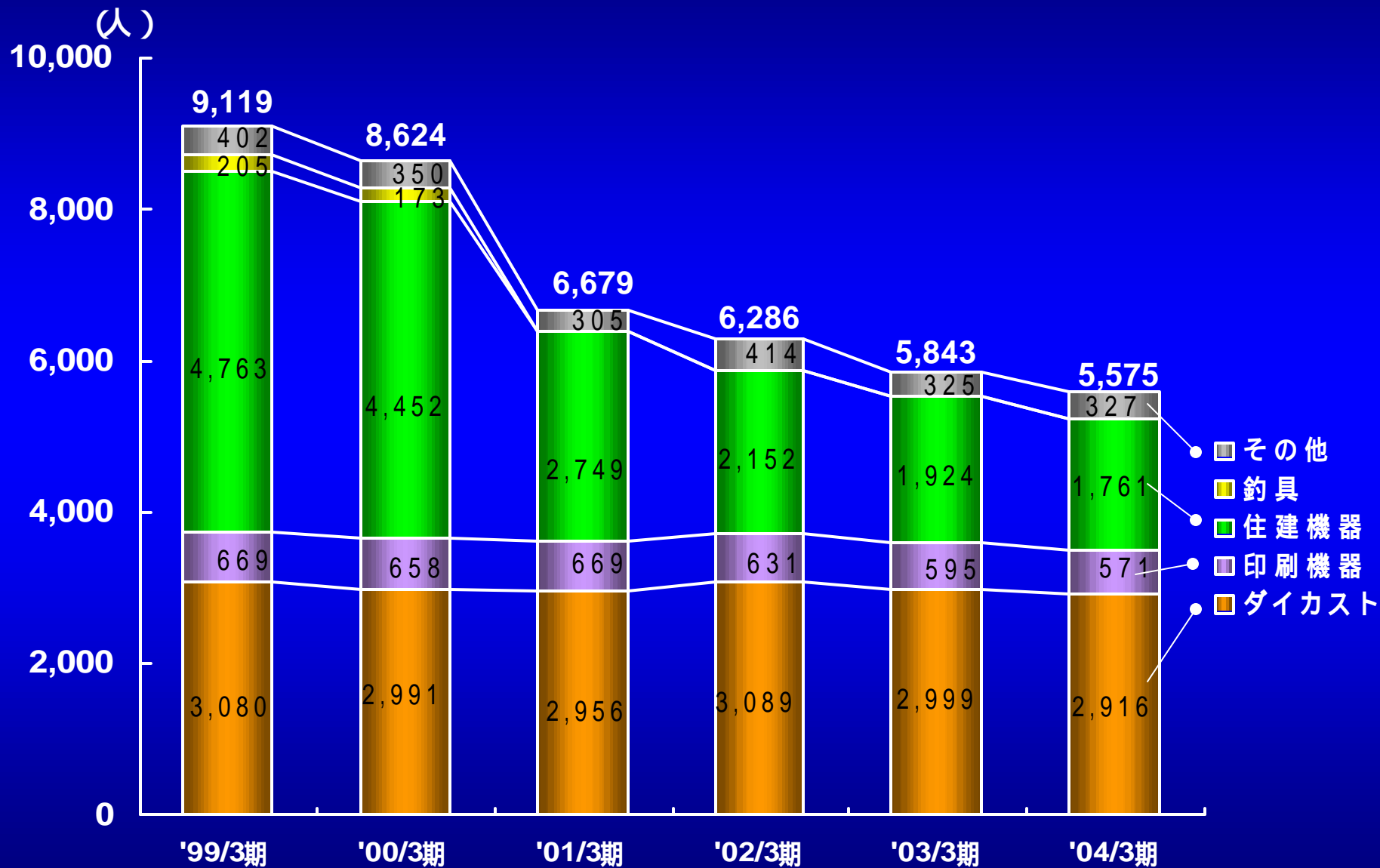
上場株式 (151億円))

経営健全化計画の達成状況 (連結)

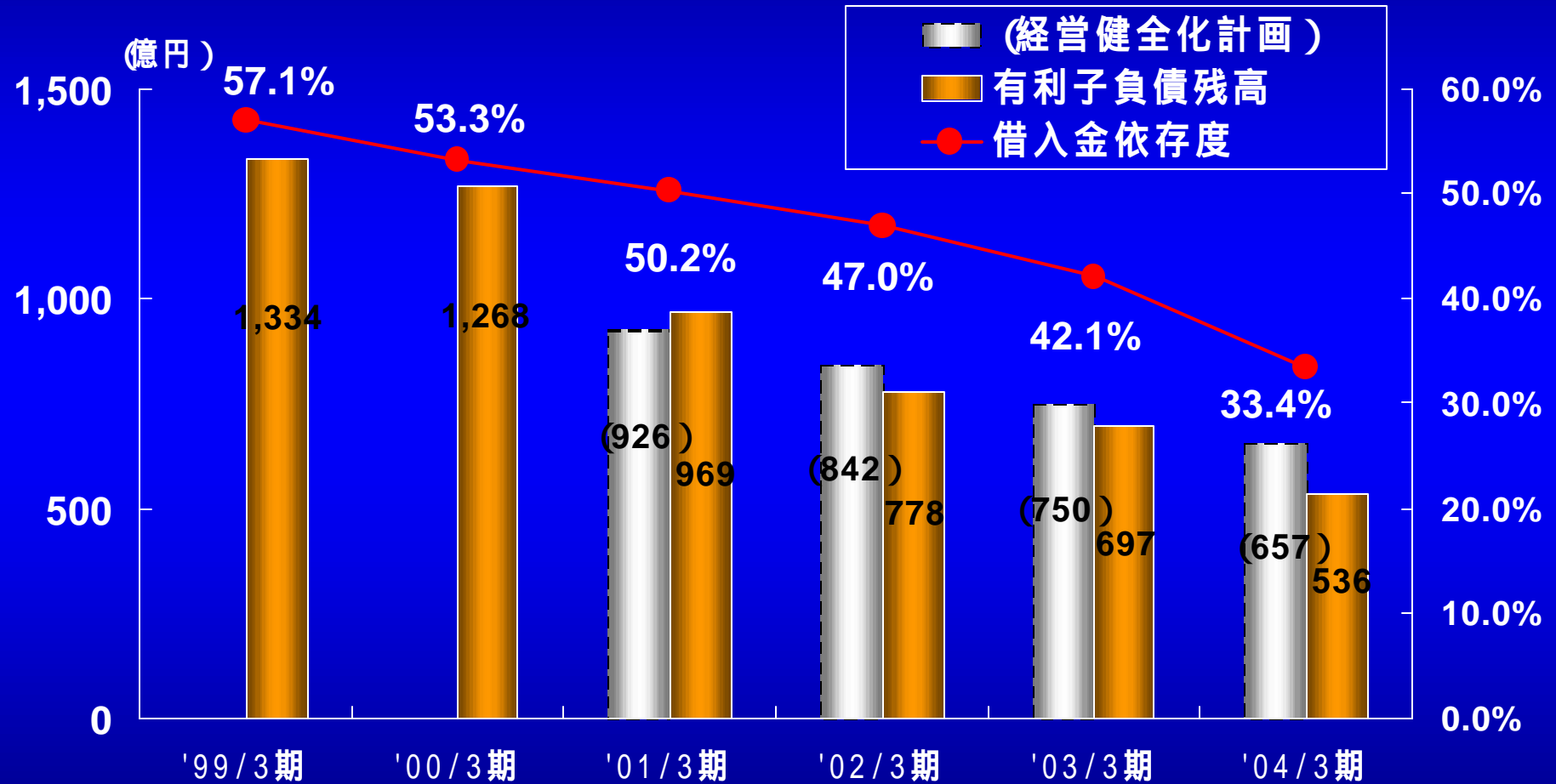
(億円、%)

	'99/3期	'00/3期	'01/3期	'02/3期	'03/3期	'04/3期
売上高 (計画)	2,428	2,401	1,843 (1,651)	1,561 (1,712)	1,565 (1,773)	1,553 (1,795)
経常利益 (計画)	-4	15	74 (61)	50 (86)	80 (91)	100 (95)
当期純利益 (計画)	-31	28	29 (22)	21 (52)	45 (56)	128 (58)
利益剰余金 (計画)	-94	-86	-57 (-30)	-41 (21)	4 (77)	132 (135)
有利子負債 (計画)	1,334	1,268	969 (926)	778 (842)	697 (750)	536 (657)
総資本当期利益率 (計画)	-1.3	1.2	1.3	1.2	2.7	7.9 (3.2)
売上高当期利益率 (計画)	-1.3	1.2	1.6	1.3	2.9	8.3 (3.2)
株主資本比率 (計画)	13.9	14.0	15.3	20.2	23.2	31.2 (30.0)

人員の推移 (リョービグループ)

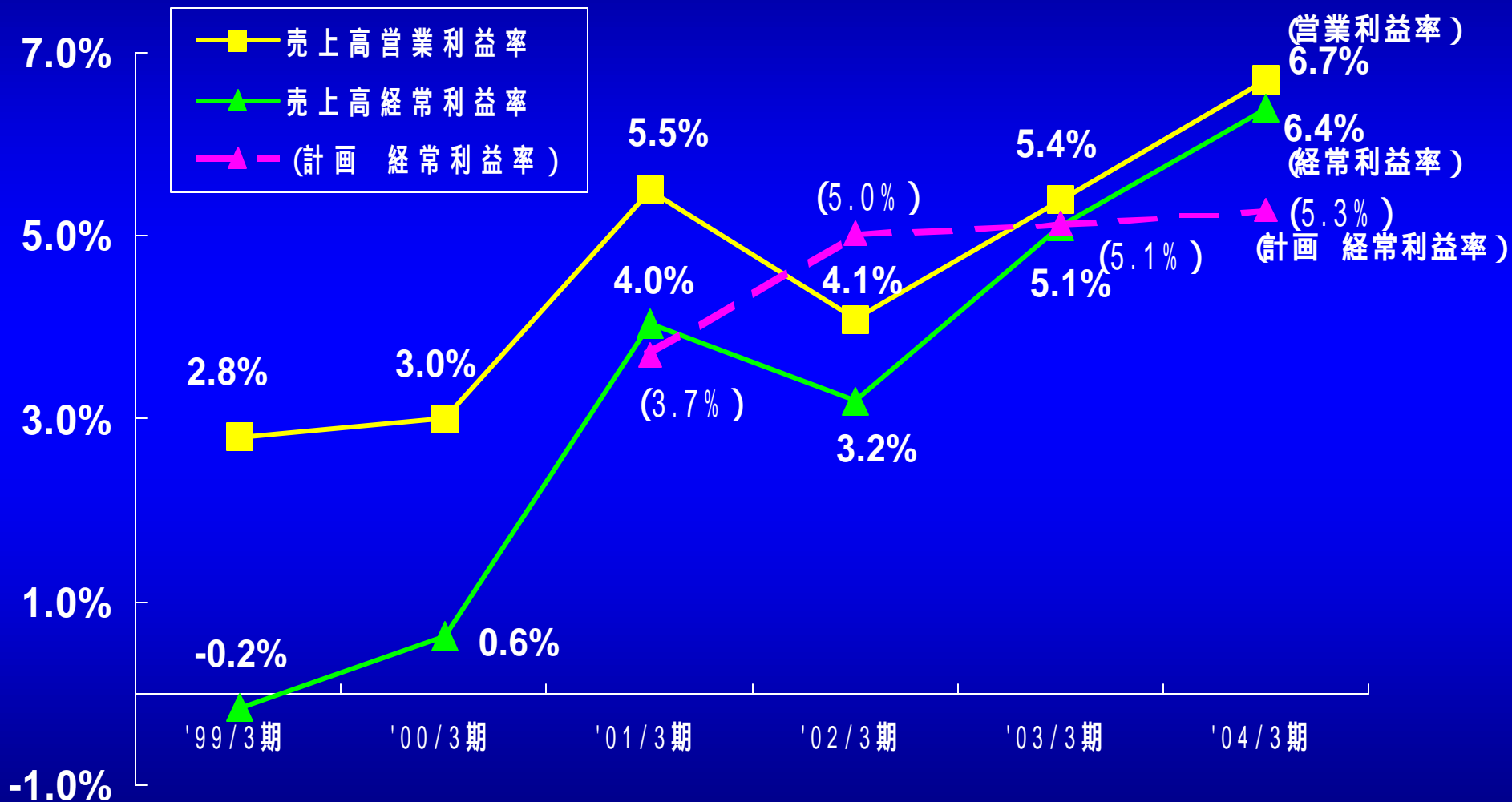


有利子負債・借入金依存度の推移

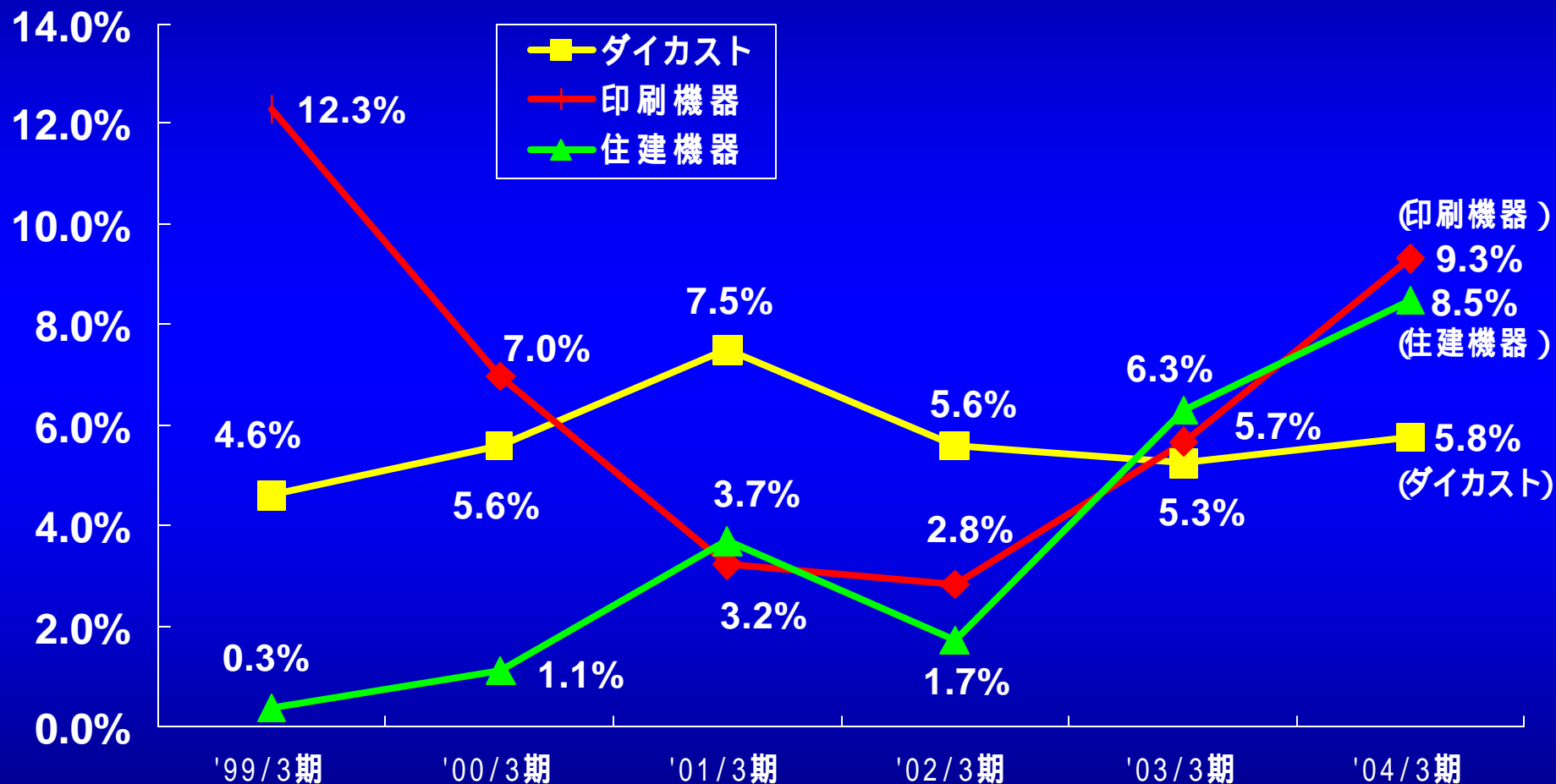


注)借入金依存度 (有利子負債 / 総資産)は期末残高ベースで算出

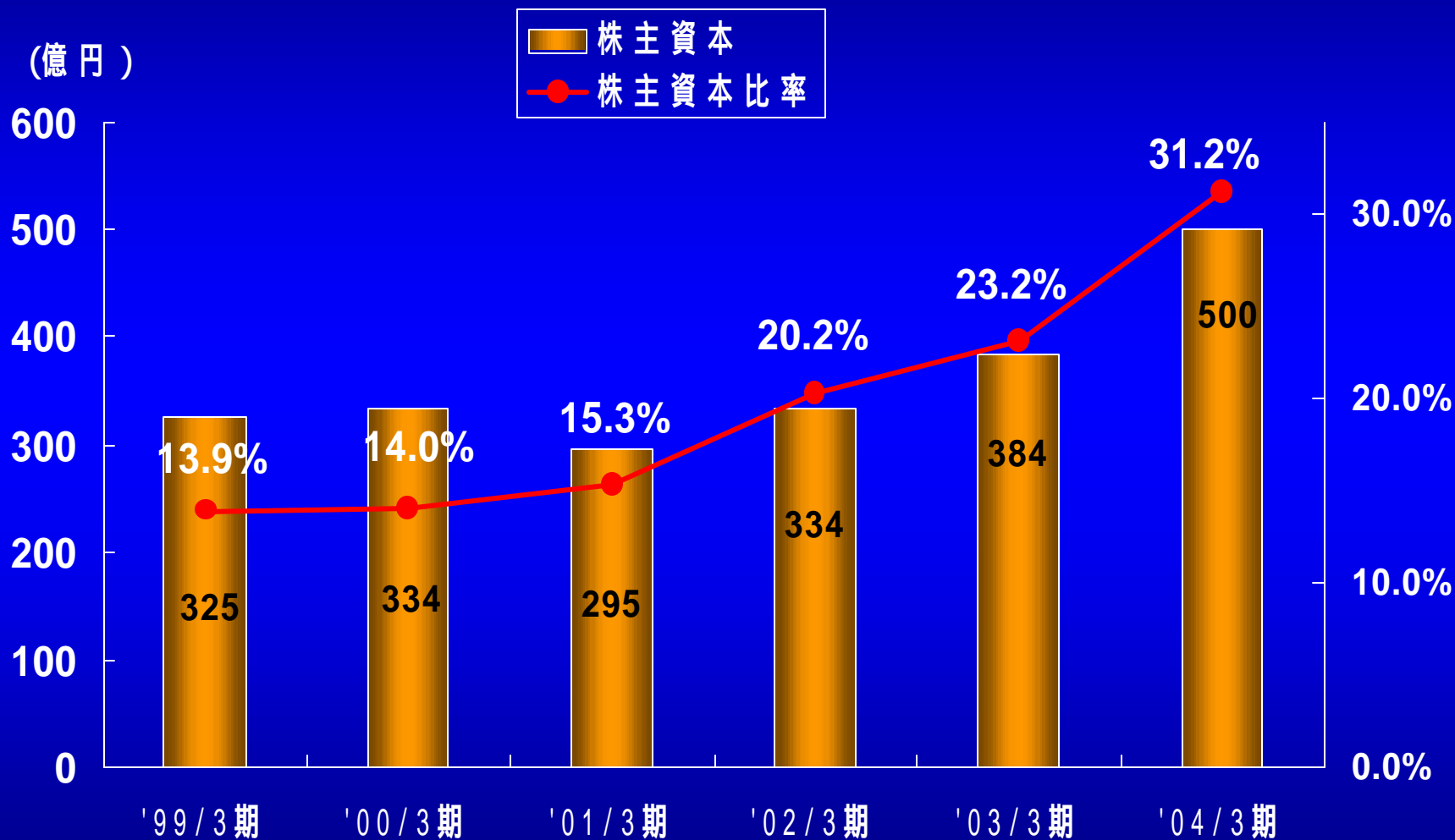
売上高営業利益率・経常利益率の推移



売上高営業利益率の推移 [事業別]



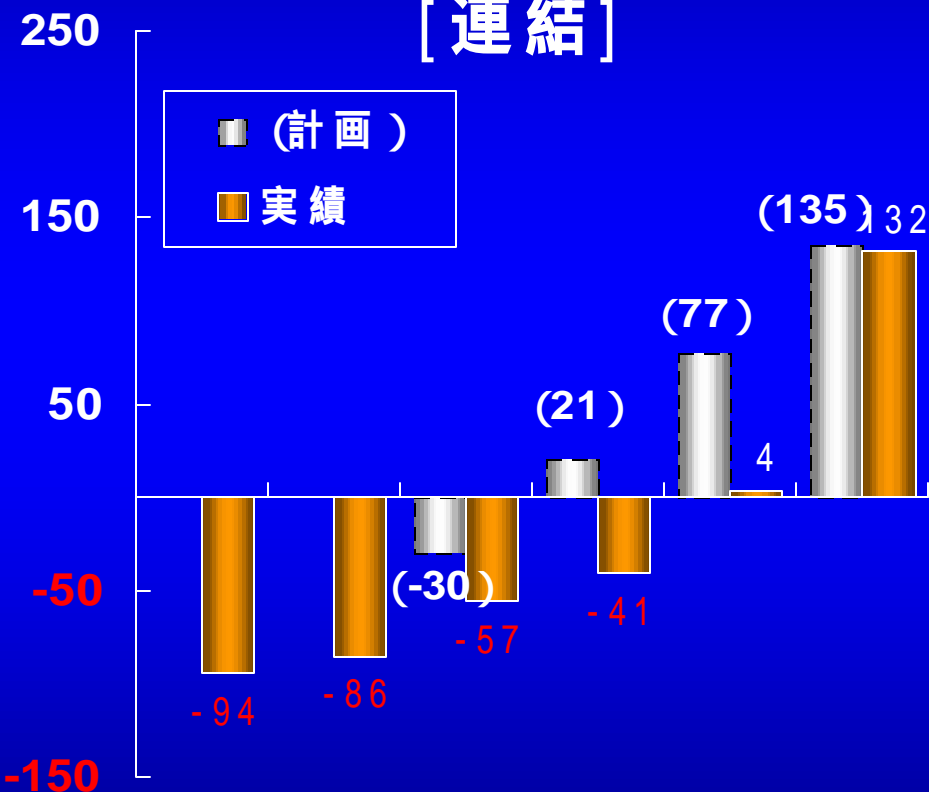
株主資本と株主資本比率の推移



連結・単独 利益剰余金の推移

(億円)

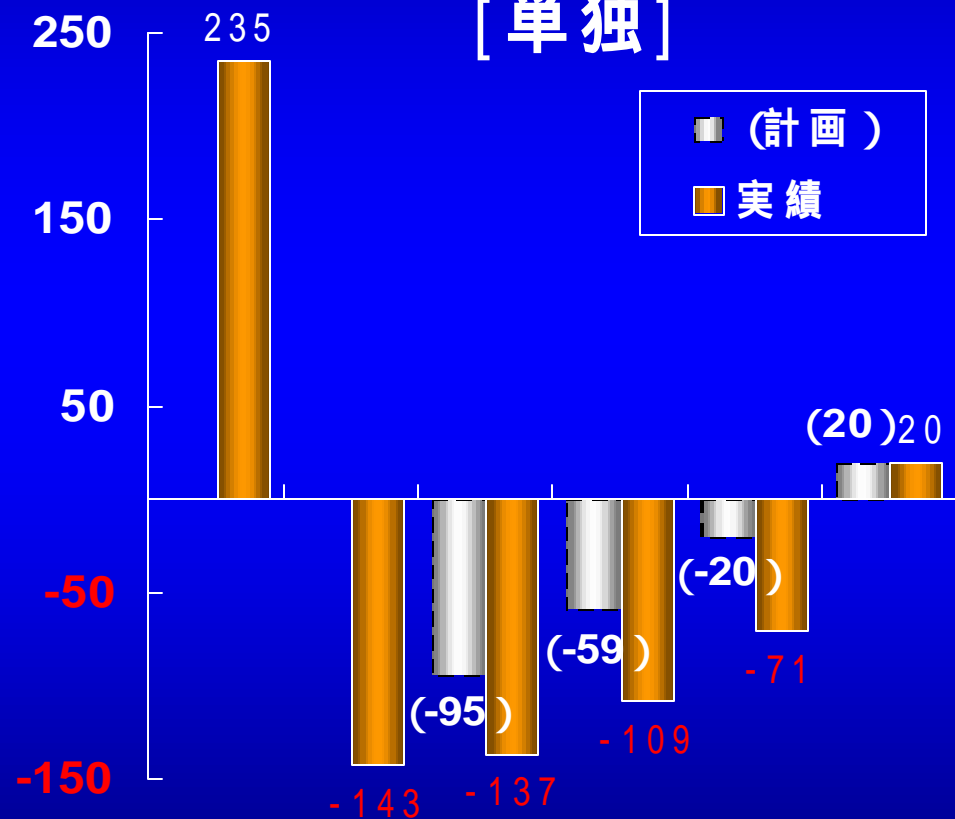
[連結]



'99/3期 '00/3期 '01/3期 '02/3期 '03/3期 '04/3期

(億円)

[単独]



'99/3期 '00/3期 '01/3期 '02/3期 '03/3期 '04/3期

決算の概況

連結損益要約

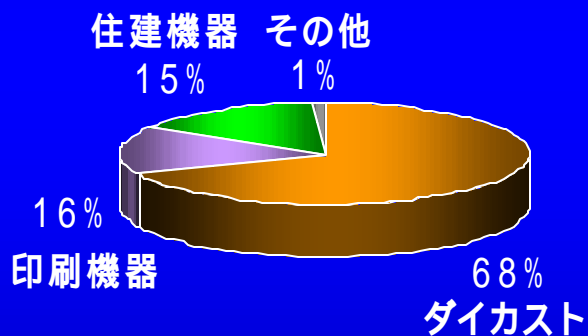
(億円)

	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (実績)	-
売上高	1,565	1,553	- 12
営業利益 (売上高比)	85 (5.4%)	103 (6.7%)	19
経常利益 (売上高比)	80 (5.1%)	100* (6.4%)	20
当期純利益 (売上高比)	45 (2.9%)	128* (8.3%)	83

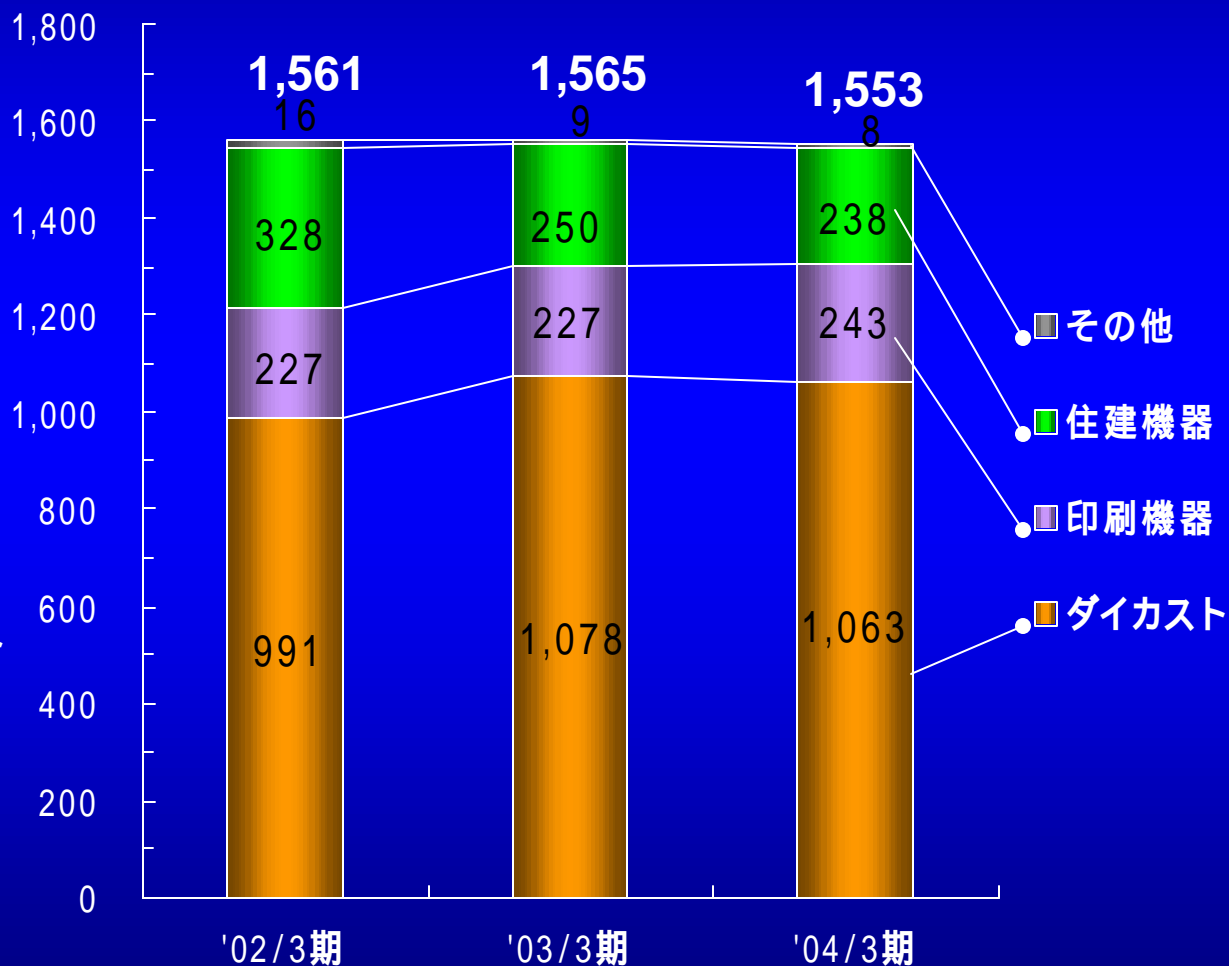
* 過去最高益

売上高 [事業別]

'04/3期 構成比



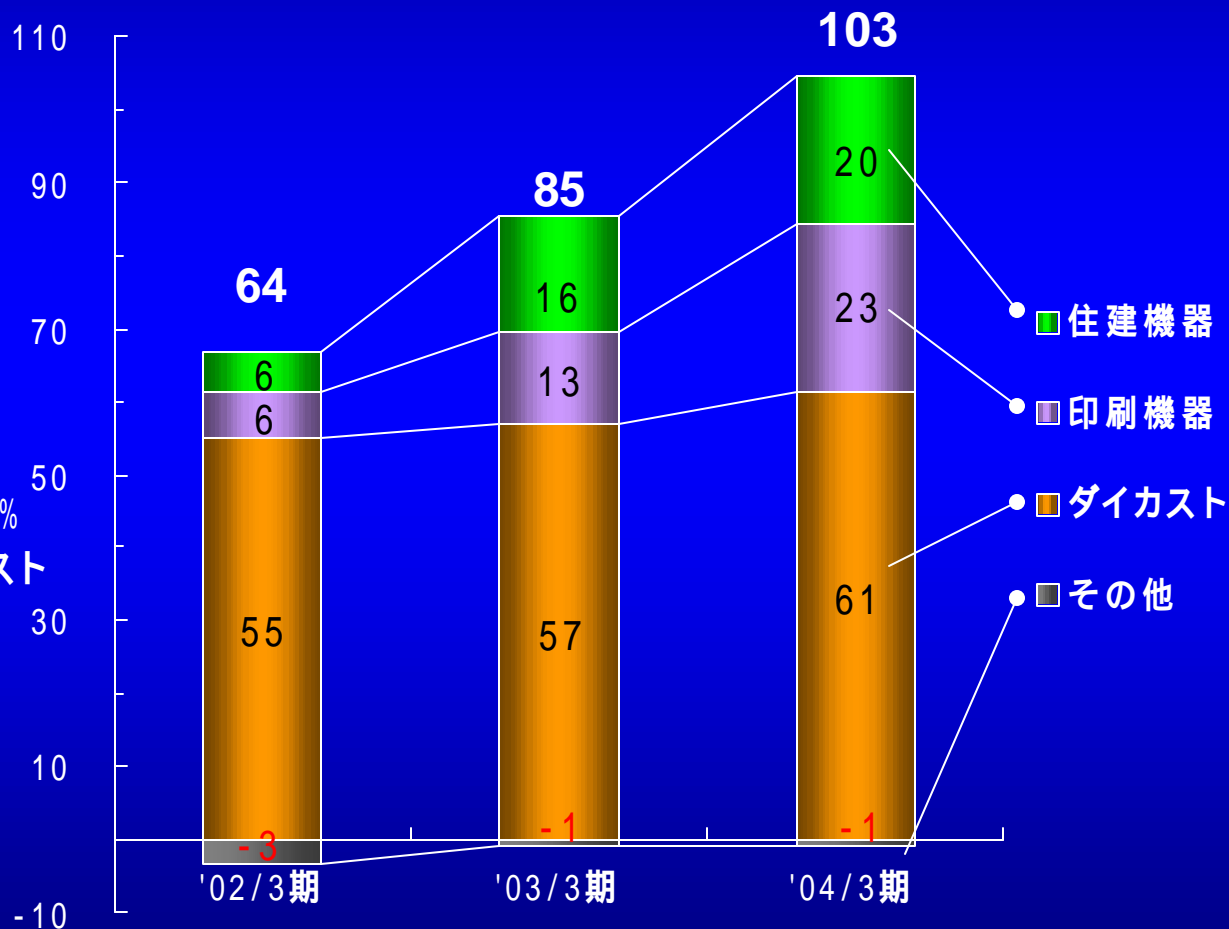
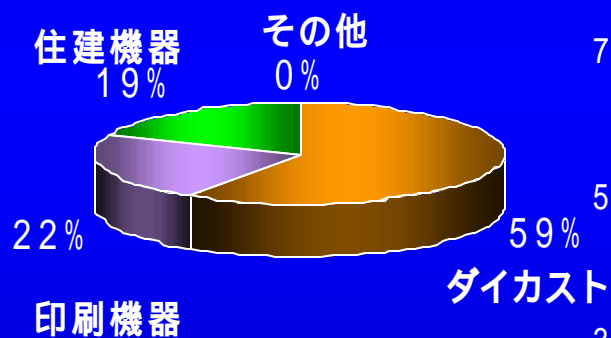
(億円)



営業利益 [事業別]

(億円)

'04/3期 構成比



売上高・営業利益の増減要因

ダイカスト

国内外で自動車向けが堅調であったが、円高 (対US\$)による為替換算の影響もあり、売上高は減少。自動車メーカーからのプライスダウンなどの影響も受けたが、コストダウンや業務改善などにより利益は増加。

印刷機器

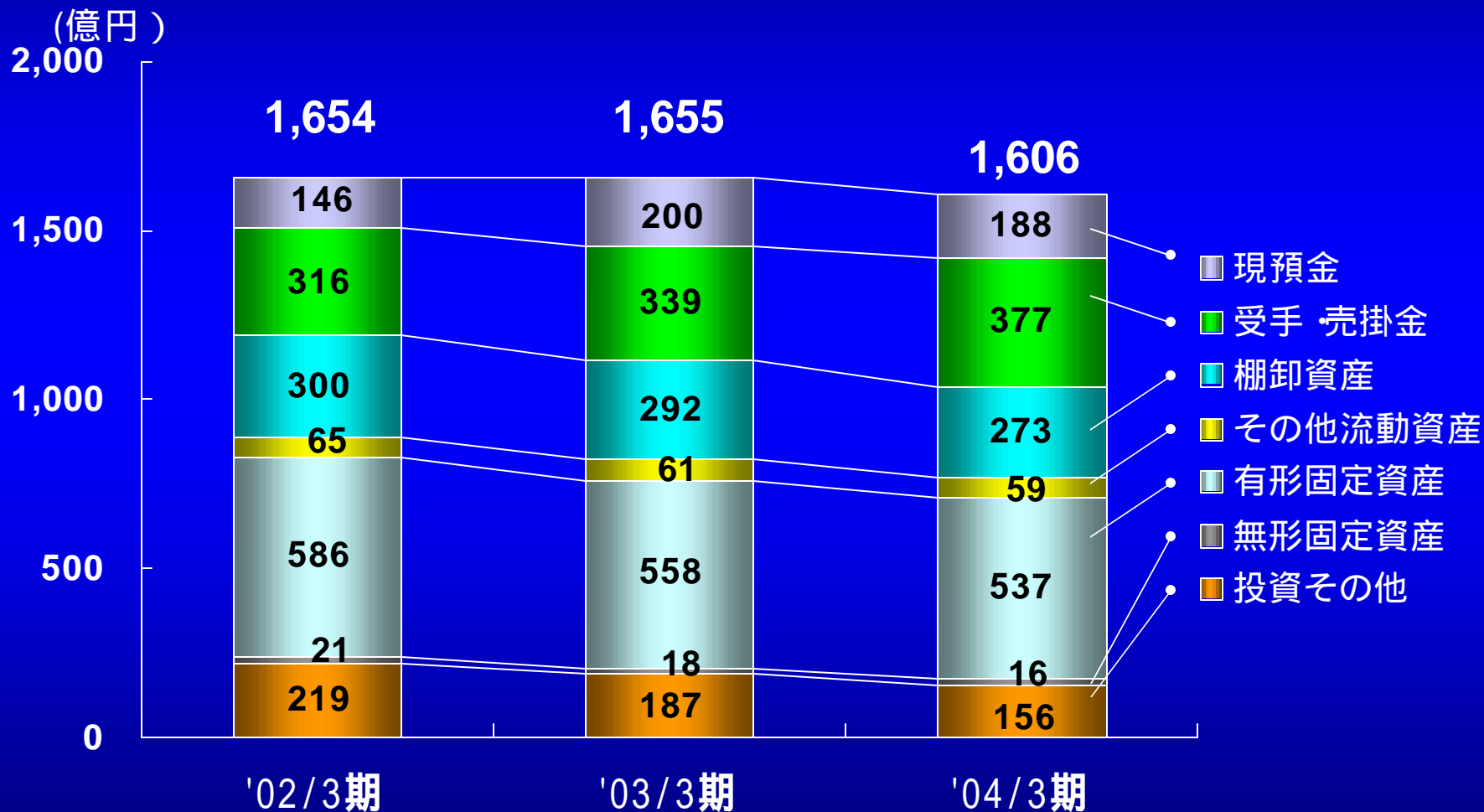
国内販売・輸出ともに伸ばし、特に中型印刷機の売上高が増加。売上高増加と生産リードタイムの短縮などのコストダウンで、利益額・利益率ともに大幅に改善。

住建機器

国内の住宅着工戸数は低水準で推移し、売上高は減少。利益率の高い商品の開発、生産効率の向上などにより利益は改善。

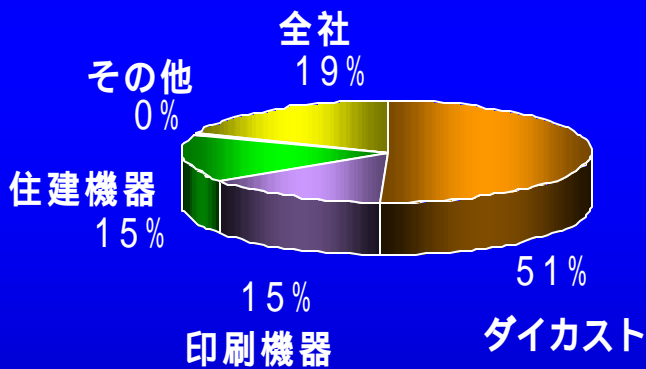
資産

[科目別]

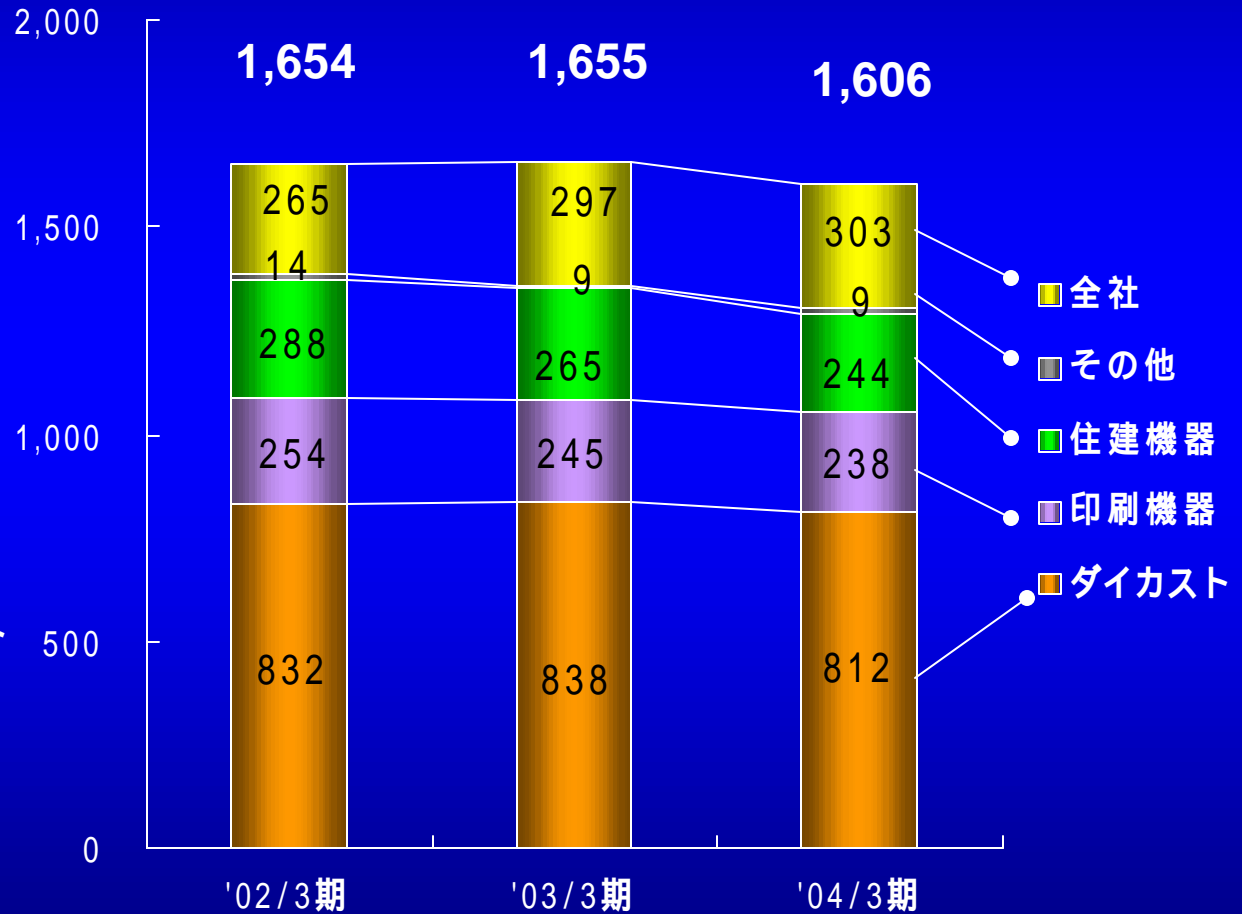


資産 [事業別]

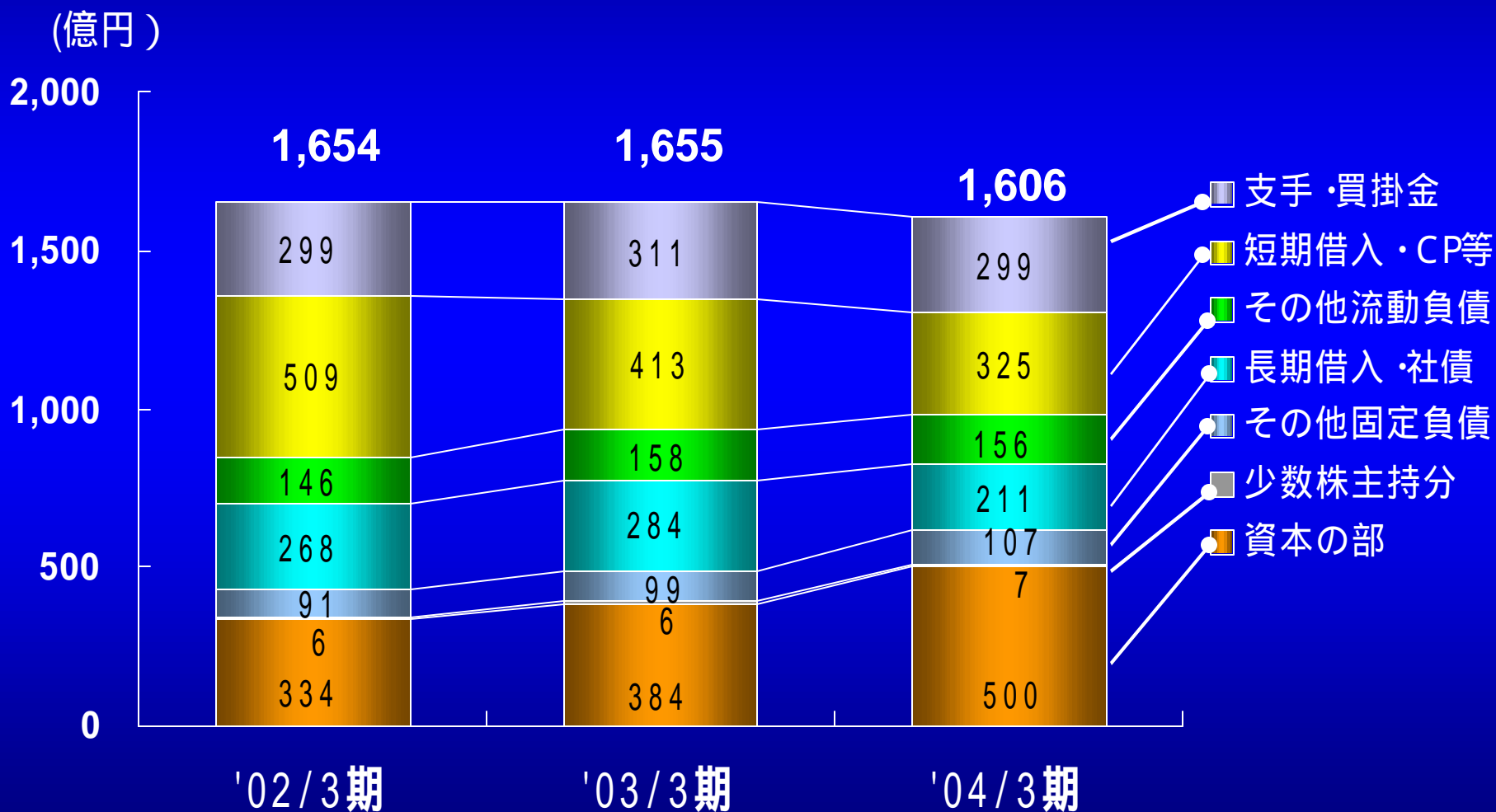
'04/3期 構成比



(億円)



負債・資本 [科目別]



自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の実行を可能にする。

(取得枠) ・取得総数 4,000千株 (上限)

・取得価額総額 1,200百万円 (上限)

(03年6月27日開催の定時株主総会決議)

(当期の買付け)

・買付け株式数 1,000千株

・買付け総額 242百万円

(当期末までの買付け累計)

・買付け株式数累計 3,515千株

・買付け総額累計 638百万円

キャッシュフロー

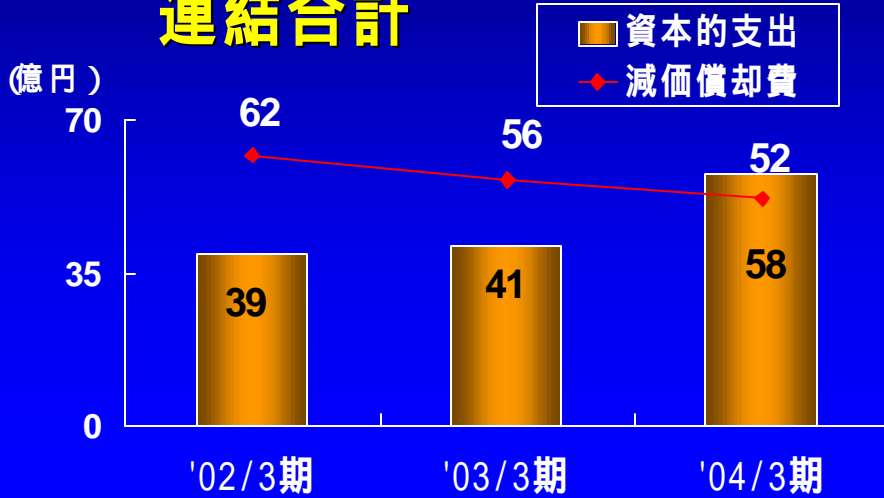
(億円)

	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (実績)	
営業活動によるキャッシュフロー	152	117	- 35
投資活動によるキャッシュフロー	- 31	41	72
財務活動によるキャッシュフロー	- 80	- 160	- 80
現金及び現金同等物増減	40	- 2	- 42

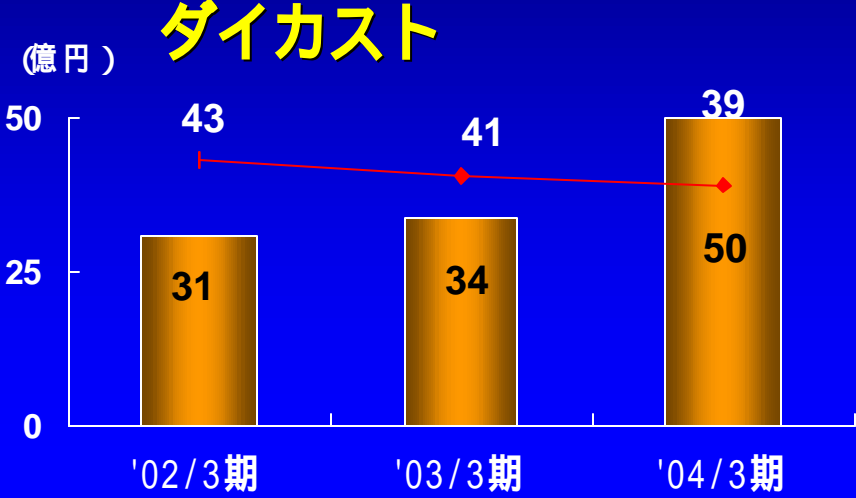
'04/3期の営業キャッシュフロー117億円の中には、債権流動化の減額によるキャッシュフローの減少額の50億円を含んでいる。

資本的支出と減価償却費

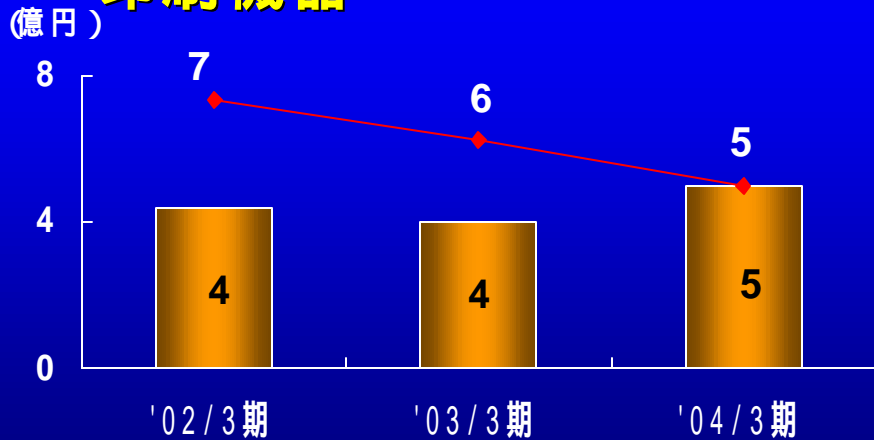
連結合計



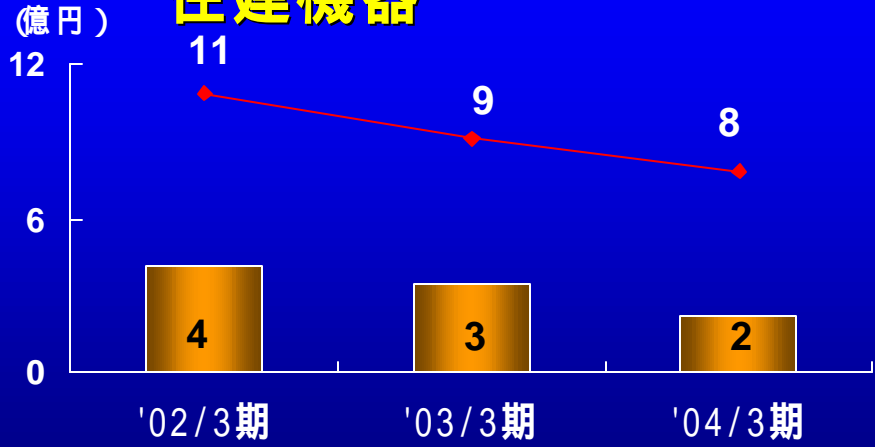
ダイカスト



印刷機器



住建機器



単独決算の概況

(億円)

	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (実績)	-
売上高	1,062	1,064	2
営業利益 (売上高比)	56 (5.2%)	59 (5.5%)	3
経常利益 (売上高比)	57 (5.4%)	64 (6.0%)	7
当期純利益 (売上高比)	38 (3.6%)	91 * (8.6%)	53
	'03/3 期末 (実績)	'04/3 期末 (実績)	-
総資産	1,242	1,244	3
剰余金	- 71	20	91
有利子負債	530	422	- 108

*過去最高益

通期予想と主な取組み

連結業績予想

(億円)

	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (予想)	-
売上高	1,565	1,553	1,500	- 53
営業利益 (売上高比)	85 (5.4%)	103 (6.7%)	89 (5.9%)	- 14
経常利益 (売上高比)	80 (5.1%)	100 (6.4%)	87 (5.8%)	- 13
当期純利益 (売上高比)	45 (2.9%)	128 (8.3%)	52 (3.5%)	- 76




'05/3期 為替レート US\$=105円 1-□ = 130円

連結売上高・営業利益予想 [事業別]

(億円)

売上高

営業利益

	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (予想)	前期比	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (前期比予想)
ダイカスト	1,078	1,063	990	- 73	57 5.3%	61 5.8%	
印刷機器	227	243	260	17	13 5.7%	23 9.3%	
住建機器	250	238	250	12	16 6.3%	20 8.5%	
その他	10	8	0	- 8	- 1	- 1	

注)下段は営業利益率

連結売上高予想 [地域別]

(億円)

	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (予想)	-
売上高合計	1,565	1,553	1,500	- 53
日 本	1,100	1,117	1,085	- 32
海 外	465	435	415	- 20
北 米	291	253	231	- 22
ヨーロッパ	126	132	129	- 3
その他	48	50	55	5

売上高・利益予想の増減要因

売上高]

印刷機器事業、住建機器事業は増加するが、ダイカスト事業は、国内自動車メーカーの減産や、米欧子会社の生産減が見込まれ、為替の影響もあり、全体としては減収となる見通し。

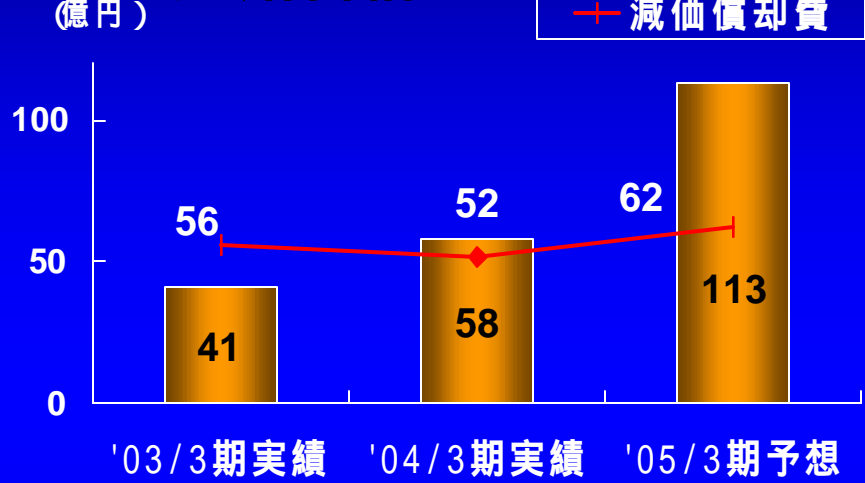
利益]

減収により営業利益、経常利益ともに減益となる見通し。
前期あった特別利益(保有有価証券売却)がなくなることから、当期利益も減益となる見通し。

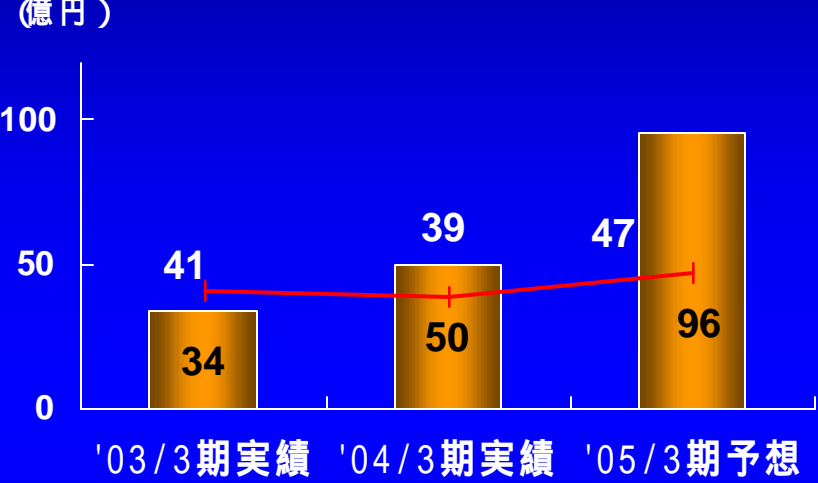
資本的支出と減価償却費の予想

連結合計

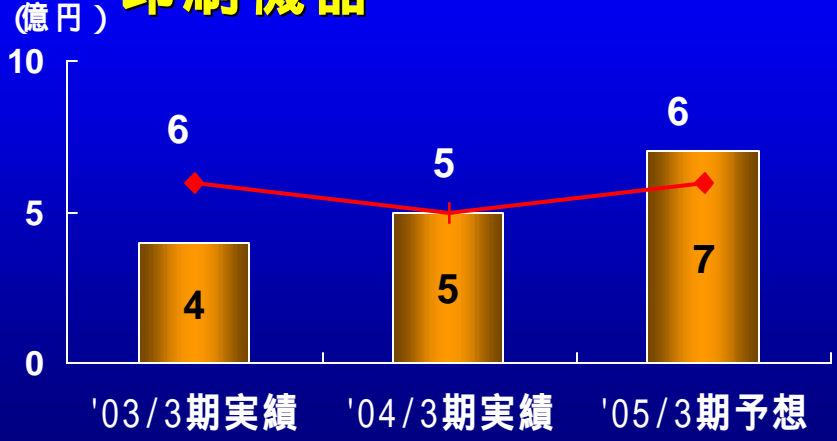
■ 資本的支出
 + 減価償却費



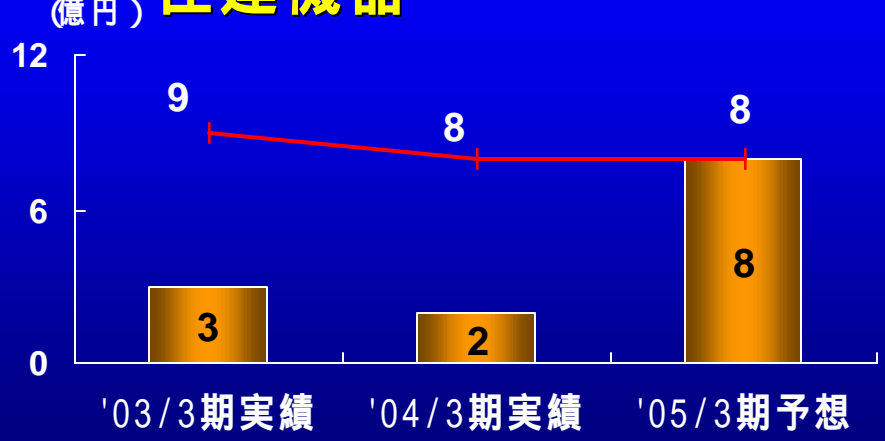
ダイカスト



印刷機器

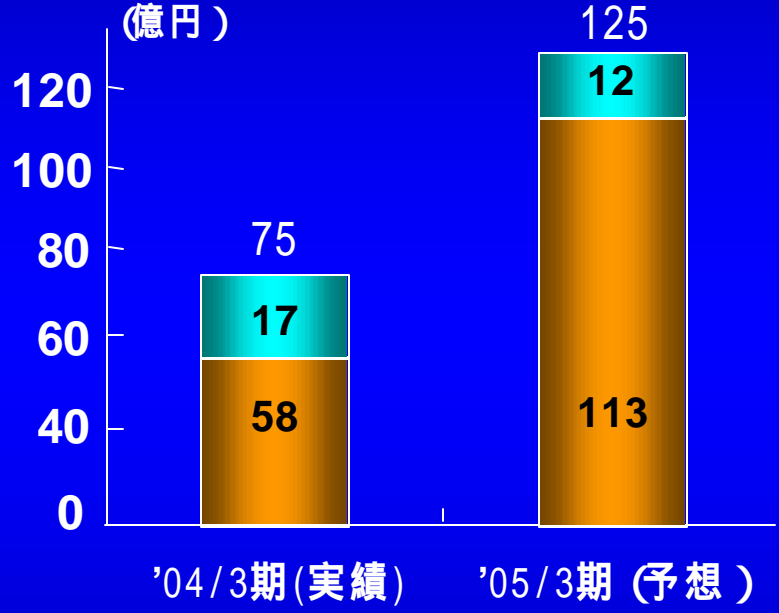
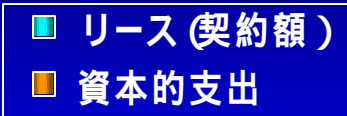


住建機器

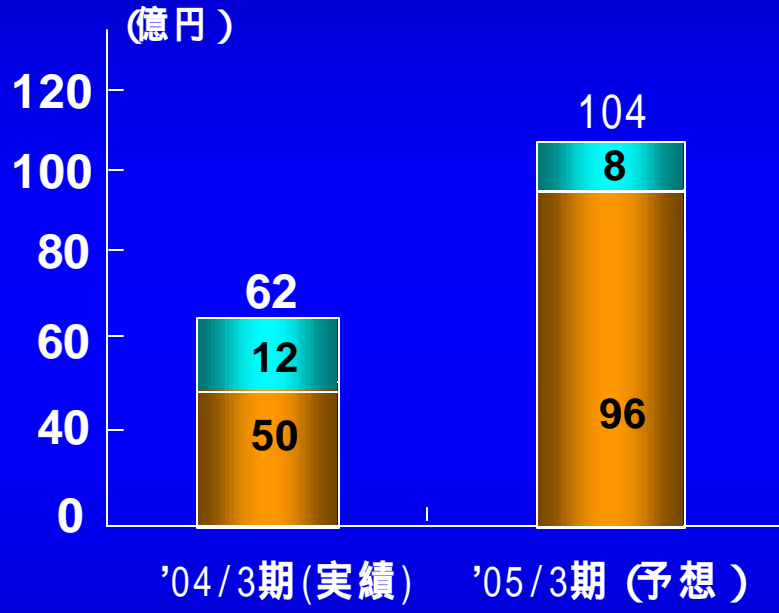


設備投資 (資本的支出・リース) 予想

連結合計



ダイカスト



< 投資増の理由 >

- ・大規模受注、加工付納入等に対応するため、加工設備、ダイカストマシン等の戦略的な設備投資を増強
- ・投資に対する収益は、'06 / 3期以降漸増する見込み

单独業績予想

(億円)

	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (実績)	'05/3 期 (予想)	-
売上高	1,062	1,064	1,040	- 24
営業利益 (売上高比)	56 (5.2%)	59 (5.5%)	54 (5.2%)	- 5
経常利益 (売上高比)	57 (5.4%)	64 (6.0%)	59 (5.7%)	- 5
当期純利益 (売上高比)	38 (3.6%)	91 (8.6%)	35 (3.4%)	- 56

主な取組み

ダイカスト事業

受注・売上高の拡大

- ・高品質・高付加価値製品の開発、技術開発力の強化
- ・顧客対応力の強化

日米欧 3極体制による機動力の発揮

提案型営業の強化 (ゲストエンジニア等)

- ・人材の確保、育成 (生産技術・技能の伝承)

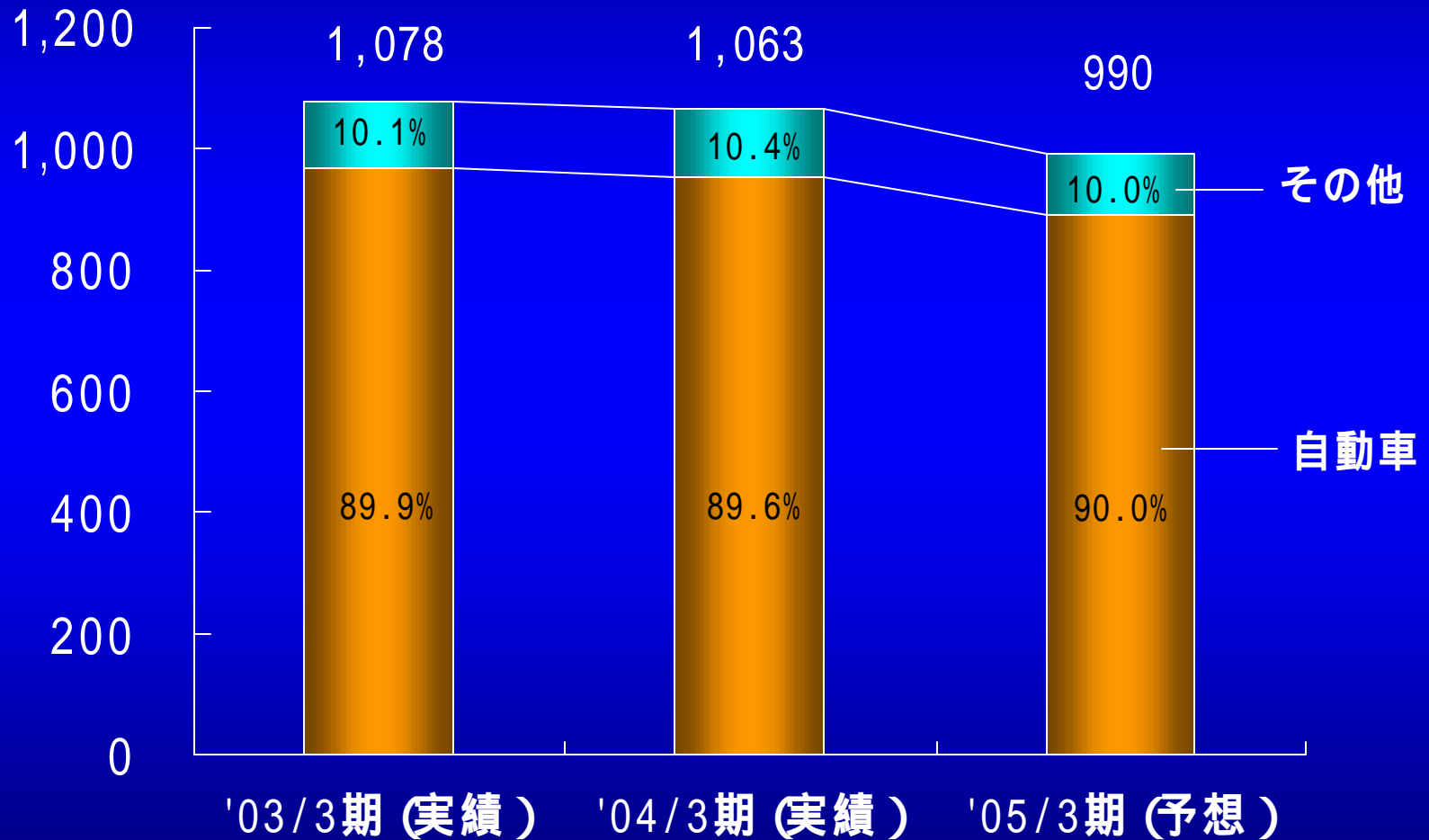
・戦略的投資の推進

低コスト化の推進

- ・販売・製造 (国内外グループ) 一体となった生産性の向上
- ・コストダウン (品質・生産技術向上等)

得意先業種別売上高 <連結ベース>

(単位: 億円)



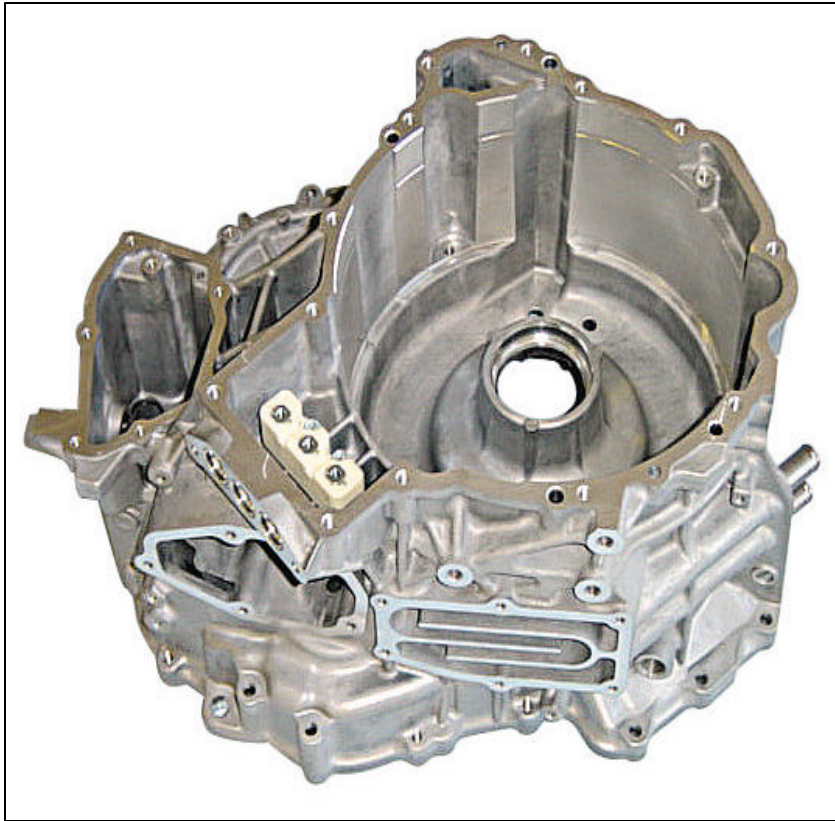
主な取組み

ダイカスト事業

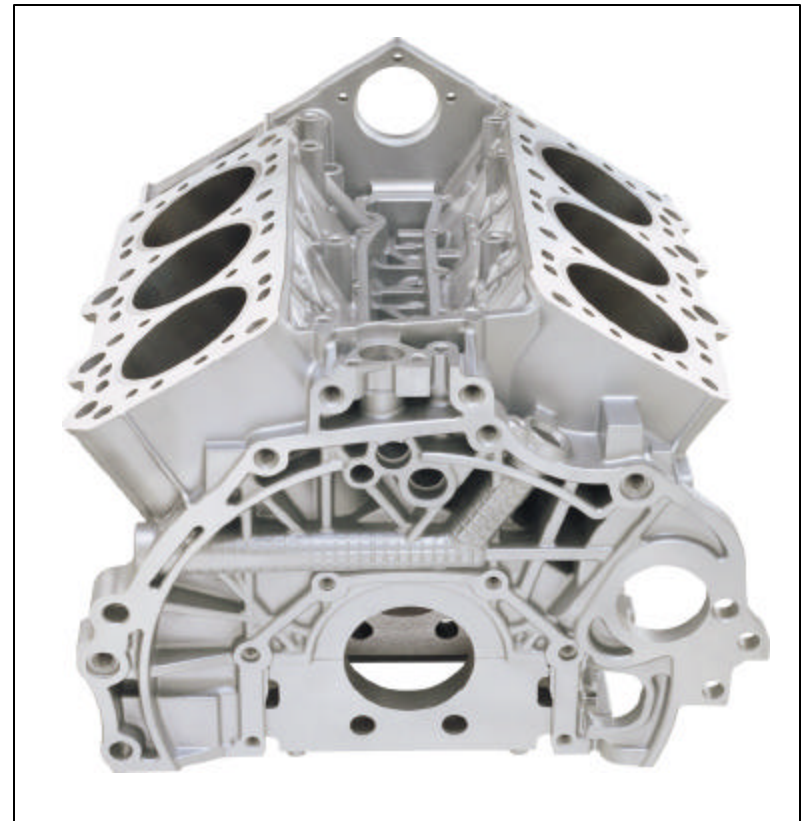
自動車関連分野

- 車体軽量化に対応する技術力強化 -
- ・エンジン、ミッション部品の新規開発と製造技術の開発
- ・車体フレーム、足廻り部品のアルミダイカスト化の促進
(高靱性合金開発、高真空・超高速技術等)
- ・受注の大ロット化、加工付ニーズへの対応力強化

ダイカスト製品 < 自動車関連部品 >

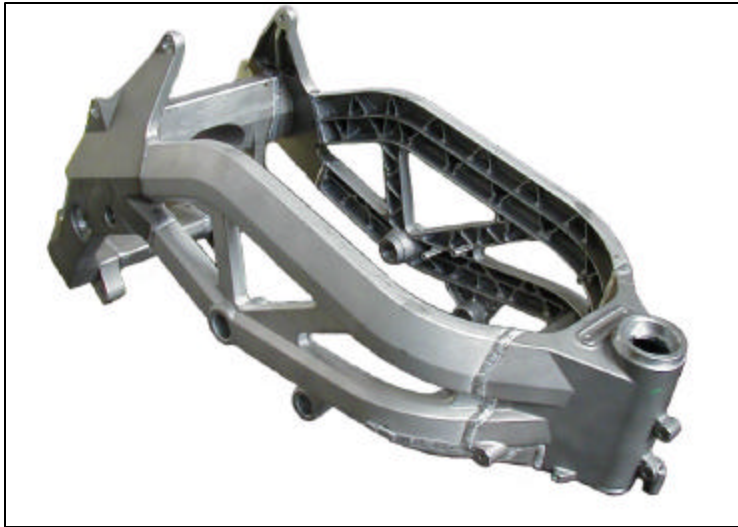


トランスミッション



シリンダーブロック

ダイカスト製品 < 自動車関連部品 >



二輪車用フレーム



スーパーチャージャー用
M / Fローター

主な取組み

ダイカスト事業

その他の分野

- ・電機 通信分野への拡販 (高強度・薄肉品)
(PDP、プロジェクター、携帯電話等)
- ・リサイクル性を求める分野の需要開拓 (環境負荷軽減)

主な取組み

印刷機器事業

新商品開発、新市場開拓の強化

- ・顧客ニーズに合った商品の開発、拡販 (中型機の充実)
- ・他社との積極的な提携推進 (共同開発、技術協力等)

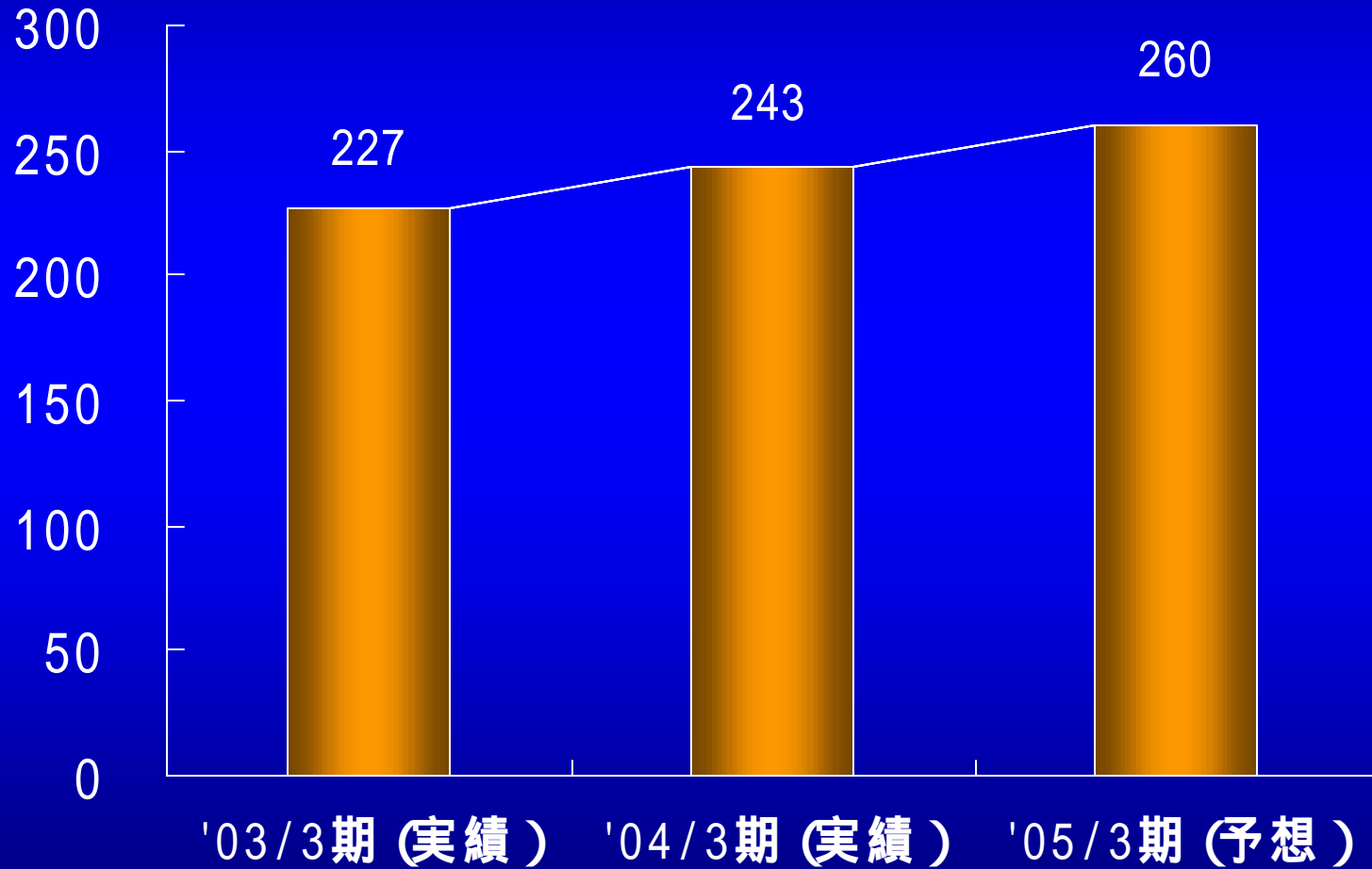
コストダウンの推進

- ・生産性、営業効率の向上
(トータルリードタイム短縮、業務改善等)
- ・部品・コンポーネントの原価低減 (海外調達促進等)

グループ経営の強化

売上高 <連結ベース>

(単位: 億円)



主な新商品 < 中型印刷機 >



750シリーズ (反転装置付)



680シリーズ (コンパクトモデル)

主な新商品 < デジタル印刷機 >



3404X - DI デジタル印刷機

主な新商品 < 小型印刷機 >



520GXシリーズ

主な取組み

住建機器事業

電動工具・園芸用機器

マーケティング力の強化

(軽量・コンパクト・使いやすさの追求)

製造力の強化による価格競争力の向上

(中国の製造子会社の生産性向上に注力し、競争力を強化)



ジグソー、ドライバドリル、インパクトドライバ



キワ切りカッタ KW-300D

主な取組み

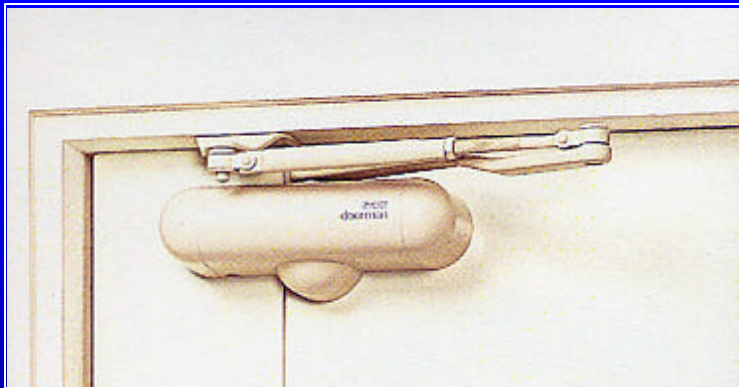
住建機器事業

建築用品

ドアクローザの拡販

高付加価値商品の開発

製造力の強化による価格競争力の向上



ドアクローザ ドアマンシリーズ
(ロングライフデザイン賞受賞商品)



ドアクローザ D-2150

企業理念

技術と信頼と挑戦で、

健全で活力にみちた企業を築く。

「らしこち」がテーマです。

RYOBI